

一昨十六日、勸業職工救ハ左記ノ通りニシテ前日ニ  
比レ六百三十人ヲ減シ十三日ニ比シ實ニ二千三百十  
二人、激減ナリント云々之レ昨報、如ク五蘭盆相  
當スル千係ニシテ何等ノ願慮スルニ足ラス一般作  
業振ハ属々申(通)報ノ如ク成績漸次良好ニ向  
ヒツ、アリ然ルニ昨報至誠回、解散ニ對シ量  
軟化職工ハ入回ノ際永続的回体ト信シ(組織  
轉)時的ニ前附言シタルニ將來如何ナル危険遭  
遇スルニ会社ヲ北背景トスル此ノ回体ニ加ハスル以  
上特別ノ保障ヲ共ハサル、モノト考ヘ居タルニ突  
然解散ニ大ニ失望シ工場内ハ未タ全ク常態ニ  
恢復セサル、此ノ舉ハ折角四隣減裂セシメタル電  
正会(正会)進会ノ如キ危険回体ニ再記ノ據

至前口ノ後  
ト云テ

會ヲ共フルニ至ルヘシ會社ノ執リタル措置尙早ノ感  
アリト悲觀セルモノノ不勘モ及之會社側ハ硬派  
職工ハ至誠回ニ對シ深キ反感ヲ抱キ居ル爲  
兎角工場内ノ暗流不絶兩者ノ融和ヲ阻害  
シ返テ作業能率ニ影響スルモノナリト目下ヲ  
解散ノ好據ト考ヘタルモノナルモ其ノ裏面ニ於テハ  
一層嚴密ナル注意ヲ共フルモノ、如シ

八月四日  
解散  
不中

本月四日以後骸首セラレタル職工ハ解雇手  
當ヲ結共サレサリシカ當時彼等ノ喜心中ニ争  
議ハ如何ニ進展レ何時終結スルカ甚速ニ逆  
賭シ難キ情勢ニアリ爲メ其ノ終放任シテ今  
日ニ及ヒタルニ急転直下四能業回ノ慘敗ヲ  
見ルニ至リタル爲メ先、骸首者ニ相當ノ手